

令和7年度支援プログラム 振り返り

ソラ

令和8年2月1日

事業所理念	ソラは様々な活動を通じて楽しくわくわくした充実した生活を支援します。Action(行動する)、Sociality(社会性)、Imagination(想像、創造)、Communication(伝える)の4つの力、視点から支援を行います。	営業時間	第1単位 10:00～17:30 第2単位 9:00～17:00
支援方針	① 話し合い活動をすすんで取り入れ、自分の思いを伝える力、相手の話を聞く力を身に付ける。 ② 活動では「自分でする」ことを目標にスケジュールや準備、役割等、段取りする力を養う。 ③ 公共施設、交通機関でのルールやマナーを理解し、実践する。	送迎実施の有無	有

※受け入れ施設の都合や感染症の流行等により、支援内容をやむを得ず変更する場合があります。

5領域	ねらい	支援内容	
健康・生活	健康状態の維持・改善	健康状態の把握	職員から利用者に季節や気温に応じて服装を調整できるよう伝えたり、感染症予防としてマスクの着用やうがい手洗いをするよう声をかけたりして、体調管理を意識できるようになった。散歩やウォーキングをしたり、雨の日には傘をさしながら歩く練習を行ったりして、日々の運動や外出を習慣化できている。長期休み中には利用者自身で作りたいおやつについて話し合い、材料の買い出しやおやつ作りをすることができた。掃除、片付けをする大切さや気持ち良さを伝え、率先して整理整頓のための行動ができる利用者が増えてきている。
	生活リズムや生活習慣の形成	健康の増進	
		リハビリテーションの実施	
基本的生活スキルの獲得	基本的生活スキルの獲得	基本的生活スキルの獲得	
		構造化等により生活環境を整える	
運動・感覚	姿勢と運動・動作の向上	姿勢と運動・動作の基本的技能の向上	
		姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用	
	姿勢と運動・動作の補助的手段の活用	身体の移動能力の向上	
		保有する感覚の活用	
認知・行動	認知の発達と行動の習得	感覚や認知の活用	店舗に訪れて利用者が店員に欲しいものを伝えたり、お金を支払ったりする機会を増やした。製作したルートのマップを見ながらグループごとにウォークラリーをし、地図の見方や班行動を学んだ。道具を安全に使う練習を行い、製作や体験を戸惑うことなく進めることができた。定期的に避難経路を確認したり、全体で避難訓練を行ったりしたことで、地震や火事などそれぞれの災害を想定した安全な避難の仕方を学ぶことができた。
		知覚から行動への認知過程の発達	
	空間・時間、数等の概念形成の習得	認知や行動の手掛かりとなる概念の形成	
		数量、大小、色等の習得	
言語・コミュニケーション	言語の形成と活用	認知の偏りへの対応	図書館を利用して調べ学習や話し合いや発表の場を設け、イベントへの興味関心を広げることができた。また、活動ごとに振り返りの場を設けて、それぞれ思いを作文や新聞で表すことができた。おやつの時間に店員とのやりとりや支払いを想定した練習をすることで、イベントで訪れた施設や昼食場所で戸惑わず店員とやりとりやお金の支払いができる利用者が増えた。SSTを通して外出の時のマナーを学び、実践した。
		行動障害への予防及び対応	
	言語の受容及び表出	言語の形成と活用	
		受容言語と表出言語の支援	
人間関係・社会性	コミュニケーションの基礎的能力の向上	人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得	イベントを通して、公共交通機関を経験する乗車の仕方や運賃の支払い方を体験することができた。カラオケやBBQなどの集団活動に楽しく参加できるよう、準備物や運営を工夫しながら計画し、ルールや楽しみ方を学ぶことができた。道の駅や博物館等の公共施設を利用し、地域の文化や特色に触れたりし、情報収集したりすることができた。交通ルールを学んだことで、車の交通状況や信号を確認して安全かどうか判断し、横断することができた。
		読み書き能力の向上のための支援	
	コミュニケーション手段の選択と活用	コミュニケーション機器の活用	
家族支援	他者との関わり(人間関係)の形成	アタッチメント(愛着行動)の形成	イベントを通して、公共交通機関を経験する乗車の仕方や運賃の支払い方を体験することができた。カラオケやBBQなどの集団活動に楽しく参加できるよう、準備物や運営を工夫しながら計画し、ルールや楽しみ方を学ぶことができた。道の駅や博物館等の公共施設を利用し、地域の文化や特色に触れたりし、情報収集したりすることができた。交通ルールを学んだことで、車の交通状況や信号を確認して安全かどうか判断し、横断することができた。
		模倣行動の支援	
		自己理解と行動の調整	
職員	職員の質の向上に資する取組	一人遊びから協同遊びへの支援	交通ルールを学んだことで、車の交通状況や信号を確認して安全かどうか判断し、横断することができた。
		自己の理解とコントロールのための支援	
地域支援・地域連携、主な行事	別紙①参照	集団への参加への支援	安全かどうか判断し、横断することができた。
		移行支援	

※1 上記以外にも個別支援計画に沿った支援を適宜行っております。

※2 ☆印はイベントを想定した支援内容になります。